

歩道の改良



改良前は同一色の歩道ブロックと点字ブロックでしたが、改良により透水性舗装の採用と色付き点字ブロックの採用により、視認性の向上と雨天時の歩道の安全性が向上しました。



上と同じように、透水性舗装の採用と点字ブロックとの色彩の明確化を図りました。



駐車場への乗り入れのため、進入路が歩道と交差しているところです。従来は自動車及び歩行者双方に段差があり、通行に不快感を感じる場所でしたが、舗装の厚さの改良と段差の少ない歩道用ブロックの利用により、段差が解消しました。



歩行者用通路と自転車通行帯がカラー舗装で色分けし、視覚障害者用誘導ブロックが目立つように工夫しています。また、セミフラット歩道のため横断歩道付近で段差がほとんどなく、自転車や車いすの方もスムーズな通行が可能です。



通行量の多い徳島駅前です。自転車と歩行者の通行区分を色分けしたことにより、歩行者の安全を確保するとともに、透水性舗装の採用により、雨天時の通行性が改善されました。また、横断(写真左右)方向の勾配を緩くしたことにより、車いす使用者などの通行性が良くなりました。

(平成20年度施工)